

長久小学校
学校だより



ながひさ

なんでも進んで学ぶ子ども

ひとと仲よく助け合う子ども

2026年2月号

がまん強くやり抜く子ども

さわやかな笑顔の元気な子ども

(文責：校長 舟木志郎)

条幅の大きな紙に大きな字時をカいっぱい書きました



授業公開日に合わせ、書初め会で作成した作品を展示しました。あいにく、感染症の流行で複数の学級を閉鎖したため、学習公開そのものを中止することになり、保護者の皆様や来校いただく予定の地域の皆様にご覧に入れることができなかったのが残念です。

書初め会では、3年生以上が学年ごとに取り組みました。指導をいただく地域の方から「筆づかいのこつや大切なこと」の説明を聞いたり、実際に書く様子を見たりして、体育館いっぱい広がって取り組みました。3年生は初めての条幅への大きな文字を書くため、始めはおっかなびっくりの様子もありましたが、徐々に自信をもって力強い字を書いています。4回目となる6年生は、お手本をじっくり見ながら丁寧な線をゆっくり引き、トメ・ハネ・ハライに気を付けながら作品を仕上げました。



各学年とも、静かに落ち着いた時間が流れ、集中して作品づくりに取り組んでいました。

1・2年生は、水をつけると色が黒く変わる用紙を使って、水が出る筆ペンで練習をしました。線を引いて筆先の動きと色が変わる様子を楽しんでいました。



2日間にわたって多くの地域の先生方にお世話になりました。ありがとうございました。

紙面の作品は、氏名を加工して消しています

■ 6年生 ふるさとを語る会 ■



地域の方々にお世話になり、長久の歴史をたどり、ふるさとについての思いを語り合う会を開きました。始めに地域の方々から収集された古い写真のスライドを見ながら、当時の様子の説明を聞きました。上の左から2枚目の写真は、薪を背負って狭い橋を歩く子どもたちで、今とは違う生活の様子や広い田んぼが広がる長久地区の写真などを、趣深く語って紹介されました。その後、少人数のグループに分かれて、感想や長久地区について思っていることなどを地域の方々とは語り合いました。

地域の歴史や続いてきた文化などは、それを伝え守る方々の取り組みがあってこそ、学びの場として子どもたちに渡すことができます。生まれ育った長久について、歴史や伝統を守り引き継いでこられた方々の思いに触れることができ、充実した時間を過ごすことができました。

■ 4年生「箏の学習」 ■

音楽で、和楽器を扱う内容があり、4年生が「箏(こと)」の学習に取り組みました。益田市を中心に活動しておられるグループの方々が、箏や楽譜台、演奏する爪を児童分用意してくださり、実技を通じた学習会を開くことができました。



箏に触れることは初めての児童たちで、爪で弦をはじく動作もぎこちなさからのスタートです。指導を受け、繰り返し練習して「さくらさくら」を合奏することができました。みんなが揃って弾くと、日本古来の音階(ミ・ファ・ラ・シ・ド・ミ)を使用した箏の奥深い音色に包まれました。

■ 2年生 地域の皆さんの「ステキ！」 ■

日ごろお世話になっている方々に質問をしたりお話を聞いたりして、取組の様子ややっていてうれしかったことなどをまとめて新聞をつくり、掲示して全校に紹介しています。「見守り隊」「読み語り・みつばちの会」の皆さんの取り組みやお世話になっていることを紹介しています。



■ 卒業が近づくと… ■



卒業が近づいた6年生が、「卒業プロジェクト」として、いろいろなことに取り組みんでいます。その一つ、思い出を作ろう、感謝を伝えようと、各学年との遊び・レクリエーションを企画し、1年生との交流からスタートしました。

プロジェクトを進めるなかで、在校生とたくさん交流するとともに、長久小での6年間を振り返って、成長を実感してほしいと思います。

一部の画像は鮮明度を加工しています

ご意見ご感想をお寄せください mail : to-nagahisas51@ed.iwamigin.jp
学校 HP にも掲載しています

大田市立長久小学校

検索